

表紙エッセイ  
漢字とかな

加藤秀俊(国際交流基金日本語国際センター所長)

Essay  
KANJI and KANA  
Hidetoshi Kato ( Director, the Japan Foundation Japanese Language Institute, Urawa )

読者から

From Our Readers

教育実践レポート⑫海外のノンネイティブ日本語教師のための訪日研修

日本語国際センター「海外日本語教師研修」について

久保田美子、築島史恵(日本語国際センター専任講師)

Japanese Language Teaching Around the World  
⑫Training Programs for Non-native Teachers of the Japanese Language  
Training Programs for Teachers of the Japanese Language in the Japan Foundation Japanese Language Institute, Urawa  
Yoshiko Kubota, Fumie Yanashima  
( Senior Lecturer, the Japan Foundation Japanese Language Institute, Urawa )

中・上級 新聞・雑誌から見る現代日本

Intermediate and advanced Aspect of Japan Today in the Newspaper and Magazine

第3回 携帯電話

本コーナーは著作権の関係でホームページへの掲載ができません。

Cellular Phone  
( This article is prohibited to appear on the web sight by copyright holder. )

日本語を研究する

第11回 認知言語学からみた日本語教育

山梨正明(京都大学教授)

Research on the Japanese Language  
Cognitive Linguistics and Japanese Language Education  
Masaaki Yamanashi ( Professor, Kyoto University )

初・中級 写真で見る日本人の生活

Beginning and intermediate Japanese Life As Seen in Photographs

日本人が住む家

Japanese Residence

初・中級 授業のヒント

Beginning and intermediate Ideas for Japanese-Language Classrooms

テープ教材の使い方(その1)

Way to Use Audio Tapes Part 1

本ばこ(新刊教材・図書紹介)

Book Shelf : Introduction of New Titles

国際交流基金開発教材

『写真パネルバンク』のユニークな使い方

コンテスト応募作品の紹介

Teaching Material Developed by the Japan Foundation  
Photo Panel Bank  
Contest results

海外日本語教育Q&A

Overseas Japanese-Language Education Q&A

ニュース・編集部から

Miscellaneous News・From the Editors

マークは、読者が教えている生徒のレベルを示します。

mark indicates the level of students whom readers are teaching

別冊 国際交流基金日本語国際センター設立10周年記念

An Extra Issue

「日本語国際センター10年のあゆみ」

The Japan Foundation Japanese Language Institute, Urawa

The 10th Anniversary

読者から

はじめまして。私はジョニー・ピンサルといいます。インドネシアの北スマトラ州メダン市にある高校で日本語を教えています。インドネシアでは日本語教育が盛んで、メダン市内だけでも日本語を教えている高校が14あります。このうち4つの高校は観光専門高校で、日本語ガイドやホテルの従業員になるための特別な日本語教育を行っています。

高校で教えている日本語教師は私を含めて全部で12人ですが、現在、山科先生という日本人の先生が国際交流基金から派遣されています。山科先生はメダン市内にある14の高校を順番に訪問しに来ます。その他にも私たちと一緒に勉強会を開いて日本語や日本語の教え方などを教えてください。私たちインドネシア人の日本語教師たちは、山科先生と一緒にみんなで勉強するのがとても役に立っています。私が1995年に浦和の日本語国際センターで研修を受けて

から、毎回「日本語教育通信」が送られてきます。私はそれをとても楽しみにしています。いつもどうもありがとうございます。

「日本語教育通信」は内容が豊富で、自分の日本語の勉強にも、また学生に日本語をおしえるときの参考資料としてもとても役に立っています。これからも「日本語教育通信」を活用していきたいと思しますので、どうぞよろしくお願いします。(インドネシア 北スマトラ州メダン市 ストモ第2高校 ジョニー・ピンサル)

●お手紙は編集部で要約・編集して掲載しました。

表紙エッセイプロフィール

加藤秀俊(かとう ひでとし)

社会学者。国内外多数の大学で教鞭をとり、現在は日本語国際センター所長、中部高等学術研究所所長、ユネスコ国内委員会副委員長。近著に「外国語になった日本語の事典(岩波書店)。